

森と緑の会だより 2008秋号

今年で3回目、徳島県の緑の少年隊と交流を深めました

平成 20 年 8 月 7 日(木)・8 日(金)と1泊 2 日で、徳島県 16 名と高知県 14 名が参加し、緑の少年団交流会を行いました。長岡郡本山町汗見川上流域、汗見川ふれあいの郷清流館、早明浦ダムで両県の子ども達がいそいそ体験をしました。(次ページへ)



**徳島一高知
緑の少年団
交流会 2008**
in 嶺北



背丈はどに茂った草。急な斜面での草刈り(育樹)って大変。でも、刈った草と、2年で育った苗木に太陽の光が当たるようになりました。作業後の水遊びは最高！汗見川の水はとてきれー！アメーのつかみどりも楽しみました。宿泊は、汗見川ふれあいの郷清流館。翌日のぞき打ちのための竹の食器と箸を作り、つかんだアメーに刺しました。夕食はその塩焼きを味わいました。夜は四角い顔のしんりんくんが登場した交流会での森の学習後、夏の夜の定番の花火を楽しみました。2日目は、沢々内周辺の散策、地元婦人部指導でぞき打ちを行い、昼は自分達で打ったできたてのそばを食べました。自作のそばはおいしい！と竹箸がどんどん進みました。最後に、早明浦ダムで学習をしました。

秋の緑の募金にご協力お願いします！

イベント案内 10月11(土)・12(日)・13(祝)日 都市緑化祭 2008

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、高知市中央公園にて開催します。苗木・鉢・木工製品が市価より安くお買い求めできます。

体験コーナーとして、竹とんぼや森の万華鏡、木の実を使ったクラフト、木の玉プール等を設けます。また、緑の募金街頭活動や、木のおもちゃやパネル等普及展示もあります。(主催：高知市・(財)高知市都市整備公社 グループみどり会・当会)

さらに、12 日午後 1 時半からはよさこい鳴子踊り 3 チームが登場！高知のよさこいが大好き、郷土の緑環境のために！という思いで、3 年連続ボランティア出演していただくのは、「上町よさこい鳴子連」「桜(高知中央高等学校)」「サボタージュ by パトス」のみなさんです。ぜひご覧ください。



**郷土の緑環境のためにボランティア出演！
3チームの「よさこい鳴子おどり」は必見！**

(前ページの続き)この交流会は、平成18年の植樹から数えると3回目で、植えた木も50cmから、大きいものは2m近くまでに成長しました。地元本山町からは、3名が2回連続(うち2名は3回連続)で参加してくれました。去年と同じメニューも多くありましたが、今年はアメゴがつかめたとか去年以上に楽しめたとのことでした。

早明浦ダムの水の約4割が徳島県で使われています。今年は雨が少なく、開催日前の8月3日(日)には、貯水率45%を切り、第2次取水制限が徳島県等に出され、この日もダム湖岸の土の部分が帯状に見えていました。体験をとおして、水の大切さや、その水を育む森の大切さや、その森を育てることを学ぶことができました。

たくさん体験・思い出ができました

徳島-高知
緑の少年団
交流会 2008
in 嶺北

実施にあたって、本山町、汗見川活性化委員会の川村芳朗さん、高知県嶺北林業振興事務所、土佐町、独立行政法人水資源機構にご協力をいただきました。この交流会は、高知県を水源とし、徳島県へ流れる「吉野川」の上下流交流として、次世代をこなう子ども達が森や水の大切さについて体験をとおして学ぶため、「緑の募金」を活用して実施しました。主催：(社)とくしま森とみどりの会 (社)高知県森と緑の会

完成！四万十町立米奥小ツリーハウス つくっている内にこれまでに一番大きなモノに!!!

森と緑の会が3年前に、作ったツリーハウスが古くなってきたので、今回新たに1基設置しました。今回は、間伐材の利用の促進と地域で活動できる人材のスキルアップのための講習として、「情報交流館森づくり助っ人隊」の

浜氏拓さんの指導のもと、地元の朝霧森林倶楽部や保護者が参加・協力して作りました。ところが、当初の予定から規模が予想以上に大きくなり、日数もかかるとなりました。そして、7月12日(土)、ようやく完成。子ども達もその出来映えに満足していました。



上写真：左側に以前立てたツリーハウスが見えます。その大きさの違いは一目瞭然！

温暖化防止に自分達でできること 香南市立野市小学校6年3組 & エコクラブ20名

2008春号に、「緑の募金」にご寄付いただいた野市小学校5年3組の防えいレンジャーのご紹介をしました。6年生になっても地域からゴミを減らすことに取り組んでいるということなので、今回、当会から環境バスツアーを提案し、夏休みも後半の8月19日(火)に実施しました。

まず、安芸広域メイトセンターでゴミ処理行程を見学。ゴミの多さに驚きました。

次に、内原野公園でマイ箸作りやミ環境講座を行い、自分達でできる取り組みや森のはたらきについて学習しました。

最後に、学校に帰って校庭にヒマラヤ桜2本を記念植樹しました。



上：マイ箸作り。下：公園の延寿亭でミ環境講座。「No!レジ袋」等身近な事から取り組み

この取り組みは、みなさんがレジ袋をお断りすることで削減された経費を、協力量販店から「緑の募金」としてご寄付いただいております。実施したものです。(中央事業)

木造建築のこと森から学んでほしい 高校生も参加、「第2回森の未来に出会う旅 IN 嶺北」

8月22日(金)から28日(木)の6泊7日の日程で、森の未来に出会う旅」が、高知大学生を主体とする同実行委員会メンバーで実施されています。この講座は、若い木造建築志望の方に、森・製材・建築等一連の流れを知ってほしいとの思いで実施しています。

会場は、汗見川ふれあいの郷清流館」(長岡郡本山町沢ヶ内)を中心に、「山の学習」として座学・実習・見学、設計の学習」として「土佐派」の設計士を中心とした講義や、実際に木造建築物の見学等、幅広い内容で行います。

今年は、参加者15名のうち、高知工業高等学校建築科から5名が参加して、共に学んでいます。



3日目は、白髪山国有林で四国森林管理局等の指導で、間伐を体験。下写真は同じグループが見守る中、高知工業高校生が間伐中。

元気な若者を応援！この事業に高知県森と緑の会から助成しています。

平成20年度「樹木医セミナー」 高知を代表する巨木達に圧倒！診断も学びました



日本一の杉の大杉」の前で、前田樹木医さんの話を聞く受講生。

5月から9月までの6回シリーズで樹木の診断・治療に関する知識を学ぶ「樹木医セミナー」。8月24日(日)は、第5回目の講座で、巨樹・古木を視察しました。

前田繁次樹木医さんの説明で、須崎市「大谷の樟」(国指定天然記念物)から始まり、佐川町諏訪神社の「佐川の大楠」、日高村「小村神社の燈明杉」、大豊町「杉の大杉」(国指定天然記念物)、香南市「天神の大杉」(国指定天然記念物)をバスで回りながら見学しました。事前に樹木診断のポイントの説明を受け、それぞれの巨木を見て行きました。どの木も高知県を代表する巨木ばかりです。特に、杉の大杉では、過去に何度も治療を受けているという紹介がありました。

次회가、6回の講座の最終日。座学の後、午後は、高知市「城西公園」で実際に公園内の樹木の治療を行います。

このセミナーは、今期も、高知県森と緑の会が主催、高知県緑サポーター会が企画運営の体制で、「緑の募金」を活用して実施しています。



四万十・流域圏学会- 今年も「物部川」流域から (緑の募金公募事業「緑化の推進」)

今年の四万十・流域圏学会は、物部川流域で2日間の日程で開催。地球環境時代の森林の保全・再生」をテーマとした公開セミナーを開催すると共に、物部川流域の森林を視察して、河川環境と森林の関係を考えながら、今後の森林のあり方、人間との関わり方を考えるものです。5月31日(土)、情報交流館で、第8回四万十・流域圏学会 学術研究発表会として、ユースセッションも取り入れ、58名が参加。研究発表等を行いました。

6月1日(日)は、野市小学校親子を含む56名の参加でユースセッション「森林環境と物部川体験学習ツアー」を実施しました。森と川のつながりを考えるために、源流の森へ移動。「みやびの丘」を森の現状を見るためにネイチャーゲームを取り入れて登り、道中の鹿の食害に驚きました。その後、川に移動し、川虫探しに挑戦。たくさん採取でき、きれいな川にするために森を大切にすること等を学びました。



物部川の源流域「みやびの丘」で森の学習。



物部川水系「日の御子川」で水生昆虫探し。

森林総合センター祭、大にぎわい！

8月17日(日)、第5回森林総合センター祭が開催されました。これは、2年に1度センターにある4団体(高知県森林技術センター、情報交流館ネットワーク(財)高知県山村林業振興基金、(社)高知県森と緑の会)が開催しているもので、今年は「森からエコを考えよう！」をテーマに実施。

情報交流館の木工教室は、夏休みの宿題対策にしようと親子連れで飽和状態。巣箱型貯金箱や竹とんぼ等、11コーナーに分かれてお好みの作品を作りました。

センターではクイズラリー、UFOキャッチャー、釣り堀等に、子ども達が楽しく挑戦。当会では普及パネルの展示を行いました。



「四国の森づくりinこうち」へおいでよ！

11月1日・2日と「四国の森づくりinこうち」が開催されます。「四国はひとつ」のスローガンのもと、今年高知県で実施します。



日常の暮らしの中から森づくり

NCB緑の募金カード

このカードを使ってお買い物するだけで緑の募金。入会時に、便利なマイバッグをプレゼント。入会金・年会費無料。

ごくりと一息！森づくり！

～「緑の募金」自動販売機～

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標示がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ダイドードリンコ
- ・四国キャンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリーアサヒ・ポッカ・大塚製薬・ネスレ)

ハートカードで森づくり！

サニーマート全店舗に設置されているハートポイント交換機で、いろんなアイテムの中から「緑の募金」ボタンをチョイス。たまったポイントで気軽に寄付できます。

「木育」木から伝わり・拡がる、自然を大切にする気持ち 木にふれること、木のよさを知ることとおして、森に関心を

木は、五感にやさしく、特に小さな頃から自然の素材である木にふれあうことは、自然に対する興味をもつということからも非常に大切です。全国的にも、木が人に与えるやさしさやあたたかさをおして学ぶ、「木育」という考え方も広がっています。

当会の木のおもちゃプロジェクトも、多くの子ども達に木にふれあってほしいという思いから始まりました。今月から第2期のおもちゃの貸し出し先を現在募集しています(8月31日〆切)。9月から順次貸し出す予定です。そのおもちゃに触れられる展示を、サニーマーさんの協力を得て、8・9月に4ヶ所で行います(木育事業)。

また、今秋、「森のようちえん」事業として、先進地である北海道から講師を招く予定もしています。



若草幼稚園では既に取組んでおり、森での活動が運動能力・協調性等を高めていきます。



巨樹・古木

森と緑の会の前身、高知県緑化推進委員会の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行き特集しています。

天神の大杉(香南市香我美町)

この杉は、小枝細く、下に垂れるので、中井猛之進博士が杉の変種として、「コウチスギ」と命名した。昭和46年春に3日間燃え、半分は枯死した枝もあるが、幸いに樹勢は旺盛である。

周囲9.8m、樹高55m、樹齢800年。昭和18年2月19日、国指定天然記念物。

樹木医セミナー第5講座目の視察の最後に見た木である。



協力をお願いします。
10月31日までは
秋期「緑の募金」強化期間です。



- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

社団法人 高知県森と緑の会

〒782-0078

高知県香美市土佐山田町大平 80

高知県森林総合センター内

TEL 0887-52-0072 FAX 0887-52-4177

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ http://www.moritomidori.com/